

通信制保護者新聞

かがや ひとみ
「輝く瞳」

第 11 号 作成者 山下 武宏

英語で短冊に願い事

7月2日のスクーリングにて、英語で短冊に願い事を書く、「七夕・イングリッシュ・レッスン」を行った。生徒は七夕の季節を感じながら、自分の思いを英語で表現した。2年生の■■■■さんは、「Challenge Spirit (いろいろなことに挑戦していきたい)」と少し照れながら星型の色紙に思いをつづっていた。また、進路選択の時期を迎えている4年次生では、「世界中を旅してみたい」といった現在の心の中を象徴している言葉もみられた。

本校では、週に一度のスクーリングを重視しており、体験的な授業に力をいれている。この様子は、津山朝日新聞にも、紹介されました。



通信制の職員室に飾っています

単位認定試験はじまる

7月23日から前期単位認定試験がはじまった。今年から、生徒の負担を軽くする目的で、認定試験は、2日間の日程で行われる。初日のテストは、国語総合をはじめ15科目が行われた。普段はのんびりした顔で登校する生徒も、いささか緊張気味の

顔で登校する生徒が多く見られ、教室でプリントを眺めたり、友達同士で問題を出しあったりする姿が見られた。7月30日に残りの科目試験が行われる。35点以上が合格点となり、スクーリングの出席、レポートの成績等を見ながら、単位認定となる。



携帯電話の電源を切ってから開始です

正門からの風景 (ちょっとしたブログ)

毎週、日曜日のスクーリング前の11時45分から約30分間、校門前に立って、生徒の登校の様子を見させてもらっています。はじめは、「先生こんなところで何しよん？」や「暇なけんたつとんじゃろう。」など、生徒も不思議な顔で、私の前を通っていましたが、最近では、「先生 おはよう！」など元気な挨拶を返してくれる生徒が増えました。また、バイクで登校する生徒も、校門前でスピードを落としてくれるなど、生徒の様子が大きく変わってきています。スクーリング出席率も平均85%と他校の通信制高校と比べてみても、とても高い数字となっています。忙しい毎日を過ごしている通信制課程の生徒も、日曜日の優先順位を学校が一番としてくれていることがとても嬉しく思います。是非、この傾向が続きますように、保護者の方の引き続きのご声援をよろしくお願い致します。